

インデックスファンドNYダウ30 (アメリカ株式)

追加型投信／海外／株式／インデックス型

交付運用報告書

第3期(決算日2017年3月21日)

作成対象期間(2016年3月23日～2017年3月21日)

第3期末(2017年3月21日)

基準価額	14,350円
純資産総額	1,184百万円
第3期	
騰落率	20.9%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「インデックスファンドNYダウ30(アメリカ株式)」は、2017年3月21日に第3期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券に投資を行ない、米国の株式市場を代表する指数に連動する投資成果をめざして運用を行なっていました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2016年3月23日～2017年3月21日)



期首：11,865円

期末：14,350円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率：20.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額およびダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は、期首 (2016年3月22日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース) は当ファンドのベンチマークです。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式 (これに準ずるものを含みます。) に実質的に投資し、米国の株式市場を代表する指数 (ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)) に連動する投資成果をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・米国における追加利上げ観測の後退から投資家のリスク許容度が改善したこと (期間の初め～2016年4月中旬)。
- ・英国の欧州連合 (EU) 離脱選択を受けて各国政策当局などによる追加経済対策への期待が高まったことや、米国雇用統計の改善を背景に米国経済に対する楽観的な見方が強まったこと。
- ・米国新政権による積極的な景気刺激策への期待が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・米国連邦準備制度理事会（FRB）による追加利上げ観測が強まったこと。
- ・米国新政権による政策運営に対する不透明感が強まったこと。

1万口当たりの費用明細

(2016年3月23日～2017年3月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	82	0.668	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(36)	(0.291)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(40)	(0.323)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.040	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(2)	(0.019)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(2)	(0.014)	
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(1)	(0.008)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.004	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(0)	(0.003)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.001)	
(d) そ の 他 費 用	15	0.119	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	(12)	(0.093)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	102	0.831	
期中の平均基準価額は、12,332円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年3月21日～2017年3月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
 (注) 当ファンドの設定日は2014年3月31日です。

	2014年3月31日 設定日	2015年3月20日 決算日	2016年3月22日 決算日	2017年3月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,870	11,865	14,350
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	28.7	△ 7.8	20.9
ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)騰落率(%)	—	29.1	△ 9.0	19.1
純資産総額 (百万円)	100	720	1,032	1,184

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2015年3月20日の騰落率は設定当初との比較です。
 (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は当ファンドのベンチマークです。

投資環境

(2016年3月23日～2017年3月21日)

(米国株式市況)

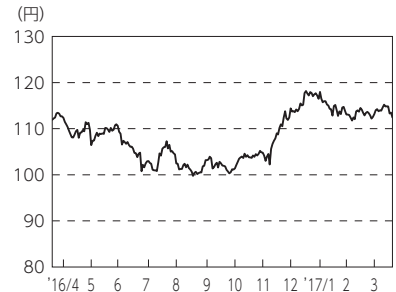
米国株式市場では、期間の初めと比べて、ダウ・ジョーンズ工業株価平均は上昇しました。

期間の初めから2016年4月中旬にかけては、米国における追加利上げ観測の後退から投資家のリスク許容度が改善したことなどを受けて、米国市場の株価は上昇しました。4月下旬から6月下旬にかけては、ギリシャ金融支援協議の進展などが株価の上昇要因となる一方で、米国や中国の市場予想を下回る内容の経済指標の発表や、英国によるEU離脱の影響懸念などが下落要因となり、米国市場の株価はもみ合いの展開となりました。7月上旬から9月上旬にかけては、英国のEU離脱選択を受けて各国政策当局などによる追加経済対策への期待が高まったことや、米国雇用統計の改善を背景に米国経済に対する楽観的な見方が強まったことなどから、米国市場の株価は上昇しました。9月中旬から12月中旬にかけては、FRBによる年内の追加利上げ観測が強まったことや、米国大統領選挙における政治面での不透明感が強まったことなどから、株価が下落する局面があったものの、11月上旬の米国大統領選挙後に次期政権による積極的な景気刺激策への期待が高まったことなどから、米国市場の株価は上昇しました。12月下旬から2017年1月下旬にかけては、新政権の政策運営への不透明感などが株価の重しとなった一方で、好調な内容の経済指標の発表などが下支えとなり、米国市場の株価はもみ合いの展開となりました。2月上旬から期間末にかけては、新大統領による金融規制改革法見直しの大統領令を受けて金融関連株が上昇したことや、新政権の法人税改革に対する期待が高まったこと、発表された企業業績が概ね好調だったことなどから、米国市場の株価は上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2016年3月23日～2017年3月21日)

(当ファンド)

当ファンドは、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(インデックス マザーファンド アメリカ株式)

主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含みます。）に投資し、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ないました。

なお、外貨建資産は、為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2016年3月23日～2017年3月21日)

期間中における基準価額は、20.9%の値上がりとなり、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）」の上昇率19.1%を概ね1.8%上回ることとなりました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

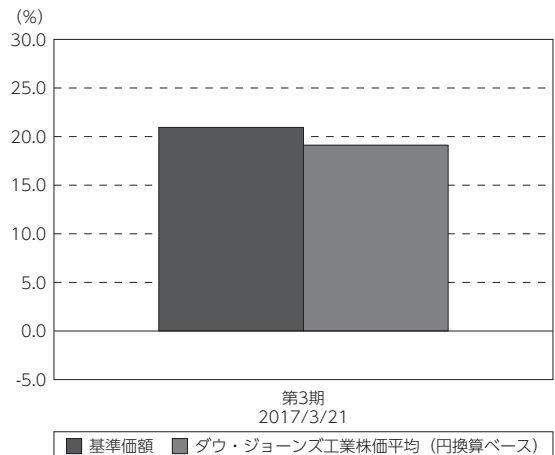
<プラス要因>

- ・株式配当金の受取りが寄与したこと。

<マイナス要因>

- ・株式先物の組入れが影響したこと。
- ・海外カストディー・フィーや売買手数料などの諸費用が影響したこと。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース）は当ファンドのベンチマークです。

分配金

(2016年3月23日～2017年3月21日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第3期
	2016年3月23日～ 2017年3月21日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,350

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針**(当ファンド)**

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないます。

(インデックス マザーファンド アメリカ株式)

引き続き、ベンチマークである「ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主として、米国の金融商品取引所に上場されている株式(これに準ずるものを含みます。)に投資する方針です。また、外貨建資産は、原則として為替ヘッジを行わず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

お知らせ

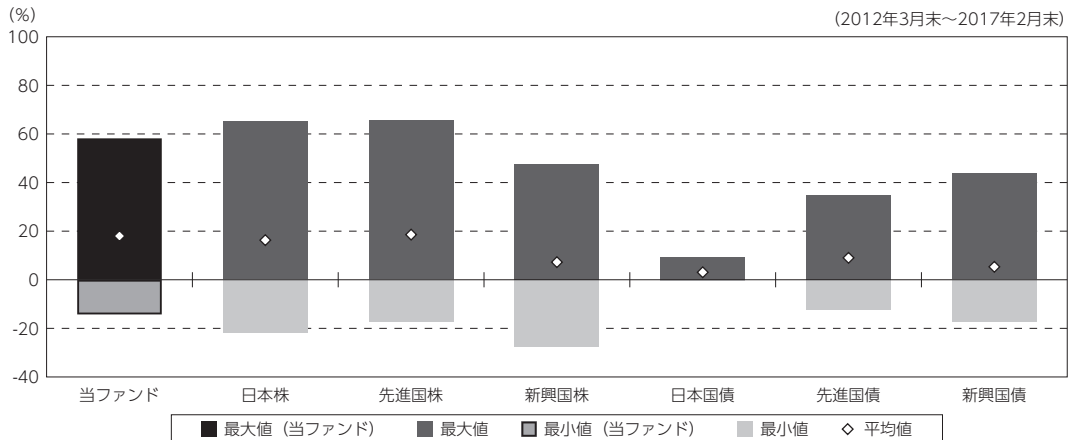
2016年3月23日から2017年3月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2014年3月31日から2029年3月21日までです。	
運用方針	主として「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券に投資を行ない、米国の株式市場を代表する指数（ダウ・ジョーンズ工業株価平均（円換算ベース））に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	インデックスファンド NYダウ30 (アメリカ株式)	「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券を主要投資対象とします。
	インデックス マザーファンド アメリ カ 株 式	米国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
運用方法	主として、「インデックス マザーファンド アメリカ株式」受益証券に投資を行ない、米国の株式市場を代表する指数に連動する投資成果をめざして運用を行ないます。同指数への連動をめざすETF（上場投資信託）に投資する場合や、株価指数先物取引などを活用する場合もあります。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	58.2	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 14.3	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 0.2	△ 12.3	△ 17.4
平均値	18.0	16.3	18.6	7.2	3.1	9.0	5.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年3月から2017年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドの設定日以前の年間騰落率につきましては、当ファンドの対象インデックスを用いて算出しております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのベンチマークについて

●ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)

「ダウ・ジョーンズ工業株価平均」は、米国の株式市場の動きを表す代表的な株価指数です。同指数の (円換算ベース) とは、日興アセットマネジメントが同指数をもとに円換算したものです。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年3月21日現在)

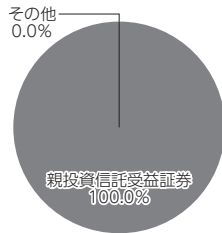
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第3期末
インデックス マザーファンド アメリカ株式	% 100.0
組入銘柄数	1銘柄

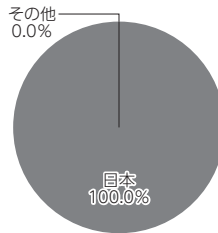
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

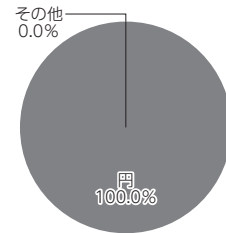
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

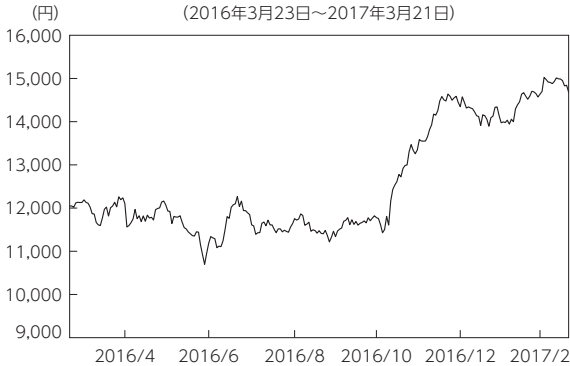
項 目	第3期末
	2017年3月21日
純 資 産 総 額	1,184,200,314円
受 益 権 総 口 数	825,221,573口
1万口当たり基準価額	14,350円

(注) 期中における追加設定元本額は527,273,050円、同解約元本額は572,612,084円です。

組入上位ファンドの概要

インデックス マザーファンド アメリカ株式

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2016年3月23日～2017年3月21日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券) (先 物 ・ オ プ シ ョ ン)	5 (2) (2) (1)	0.037 (0.016) (0.013) (0.008)
(b) 有価証券取引税 (株 式 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.003 (0.002) (0.001)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	2 (2) (0)	0.020 (0.020) (0.000)
合 計	7	0.060

期中の平均基準価額は、12,569円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

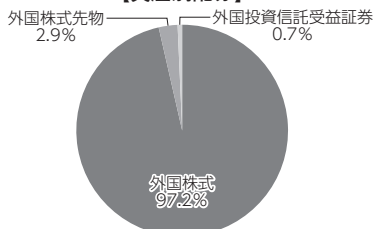
【組入上位10銘柄】

(2017年3月21日現在)

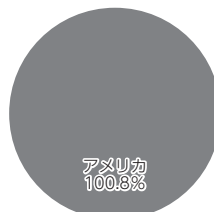
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 GOLDMAN SACHS GROUP INC	各種金融	アメリカドル	アメリカ	7.7%
2 3M CO	資本財	アメリカドル	アメリカ	6.1
3 BOEING CO/THE	資本財	アメリカドル	アメリカ	5.7
4 INTL BUSINESS MACHINES CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.6
5 UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	アメリカドル	アメリカ	5.3
6 HOME DEPOT INC	小売	アメリカドル	アメリカ	4.7
7 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	4.5
8 MCDONALD'S CORP	消費者サービス	アメリカドル	アメリカ	4.1
9 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー/ライフサイエンス	アメリカドル	アメリカ	4.1
10 TRAVELERS COS INC/THE	保険	アメリカドル	アメリカ	3.9
組入銘柄数		32銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
 (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
 (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

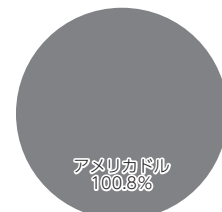
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
 (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
 ※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。